

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 6月 8日 更新

事務事業名	市バスの運行方法等の検討事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	総務部	課長名 建岡純雄
	施策	24 行財政改革の推進	所属課	総務課	担当者名 徳丸大介
	基本事業	83 計画的な施策・事業の推進	所属班	総務・男女共同参画班	(内線) 1220
予算科目	会計一般	款 項 目 事業連番 法令根拠	合志市バス管理及び使用規程		成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果 ⑥
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 ~ 22 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	合志市集中改革プランの1、事務・事業の見直しの(5)「公用車管理の適正化の「公用車の効率的利用と必要最小限台数の確保を行うとともに、リースや業務委託等への切り替え並びに廃止等の方法も積極的に導入します。」の事項に基づき、バスの運行方法等について、類似事業との統廃合・連携、民間委託等の検討を行う。H18.12.5に策定されました合志市集中改革プランの1、事務・事業の見直しの(5)「公用車管理の適正化の「公用車の効率的利用と必要最小限台数の確保を行うとともに、リースや業務委託等への切り替え並びに廃止等の方法も積極的に導入します。」の事項により市バスの検討をH19年度から開始した。合志市の経費削減の方向性で進んでおり、廃止等も含めた運行費用の削減が求められている。現在、市が保有する2台の市バスで各福祉施設への送迎、地域サロンの送迎及び市等が主催する各種行事参加者の送迎を行っている。利用状況は2台で年間平均329回である。類似事業等との調整を図り、必要台数の検討を行う。また、民間委託等も併せて検討する。
【業務の流れ】	業務の内容が、1、福祉施設利用の送迎の運行、2、各種団体(地域サロン、各種団体、地域団体、学童クラブ等の使用、3市の主催事業等の利用とに分かれるので、それぞれの運行方法について類似事業との統廃合・連携、民間委託等の検討を行う。
【主な予算費目】	人件費のみ
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
1月に非常勤職員1人が辞められたため、1人にかかる負担は増加したものの、無事業業務を遂行することが出来た。今後は必要台数、利用対象者の検討を行い、業務委託等を含めた方針または年次計画を策定しなければならないと考える。	必要台数、利用対象者の検討を行うため、類似事業の循環・巡回バスとの調整、また、社会福祉協議会の事業(地域サロン)の調整を行う。また、業務委託等を含めた方針計画を策定する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 検討回数	回
イ 調査回数	回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
市バスの運行方法	→ ア 検討事項数(統廃合・民間委託) 件
イ	イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
市バスの運行及び管理方法について、類似事業等との統合ができるか、また、市で運営するか、民間委託等への切り替えるか、廃止するかを決定する	→ ア 検討事項の決定事項数(統廃合・民間委託) 件
イ	イ 運行の費用削減率 %
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 合志市集中改革プランに基づき「公用車の効率的利用と必要最小限台数の確保を行うとともに、リースや業務委託等への切り替え並びに廃止等」を検討することとしているので検討事項の決定事項数とした。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア	回	2	3	2	0	0	0	0
	イ	回	2	1	2	0	0	0	0
② 対象指標	ア	件	2	1	2	0	0	0	0
	イ								
③ 成果指標	ア	件	0	1	2	0	0	0	0
	イ	%	0	0	0	0	0	0	0
投資	費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円						
入	量	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	1	4	15	0	0
人	件	延べ業務時間	時間	20	303	250	1,212	0	0
		(B)人件費計	千円	80	1,205	995	4,993	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	80	1,205	995	4,993	0	0	

総トータルコスト
全体計画
~22年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0

事務事業名	市バスの運行方法等の検討事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE) ※原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した H21年度では退職職員の代替員の検討を行った。必要台数、利用対象者の検討が未検討であるのでH22年度で検討を行う。(類似事業(循環・巡回バス)との調整、社会福祉協議会の事業(地域サロン)の調整が必要)	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 H22年度、必要台数、利用対象者の検討を行うため、類似事業(循環・巡回バス)、社会福祉協議会の事業(地域サロン)について関係課及び社会福祉協議会と調整検討を行い今後の方針または結論を出す。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 類似事業や利用対象者の調整を行い、必要台数や運行方法の見直しを行い、経費削減ができるかどうかの判断ができる。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 福祉施設利用者の送迎では利用目的が同じである類似事業(循環・巡回バス)との調整を行う。また、社会福祉協議会の事業(地域サロン)の送迎では利用継続の要否の調整を行い利用対象者の検討を行う。 市バスの運営管理事業に統合し、廃止する。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 調整会議のみであり、特に必要な事業費はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 職員による検討会議のみである。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 費用は特になく、市バスの運行方法等を検証することで事務事業の効率化につながる。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 合志市集中改革プランに基づく、市バスの運行方法の検討であるので適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

「公用車の効率的利用、必要最小限台数の確保、リースや業務委託等への切り替え並びに廃止」の検討で、H21年度は退職職員の代替員の委託等(シルバー人材センター委託、非常勤職員の採用、市バス全体の民間委託)検討を行いました。その結果、非常勤職員を2名採用し運行することとしました。(非常勤職員の費用は、報酬271万円(日額7,520円×15日×12月×2名)です。)
また、必要台数や委託等を検討する際、運行の利用状況を調べたところ、福祉施設利用者の送迎が119回、社会福祉協議会の事業(地域サロン)の送迎が35回、市及び関係団体の送迎が164回でした。このことから福祉施設利用者の送迎では類似事業(循環・巡回バス)との調整、社会福祉協議会事業(地域サロン)の送迎では他の団体の事業を行っているということで社会福祉協議会事業の調整が必要となりました。今後は、必要台数、利用対象者の検討を行い、業務委託等を含めた方針または年次計画を策定しなければならないと思います。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 改善を検討	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						